



※この内容は、愛知県とJAあいち経済連から同時発信しています。

2021年3月18日(木)

JAあいち経済連 米穀部 農産販売課

担 当 中村、石田

電 話 052-951-3628

F A X 052-961-3544

「ミネアサヒ」の主要生産農協が知事を訪問し、 愛知県産米初の食味ランキング「特A」取得を報告します！

愛知県農業総合試験場山間農業研究所が1980年に開発した品種で、本県中山間地域で生産された「ミネアサヒ」が、一般財団法人日本穀物検定協会が3月4日(木)に公表した2020年産米の食味ランキングにおいて、本県産米として初めて最高ランクの「特A」評価を得ました。

この度、「ミネアサヒ」の主要生産農業協同組合が知事を表敬訪問し、「特A」評価の取得と各地域における生産状況や取組内容を報告するとともに、知事に「ミネアサヒ」を試食いただきます。

1 日時

2021年3月23日(火) 午前11時45分から正午まで

2 場所

愛知県公館

3 訪問者(敬称略)

あいち豊田農業協同組合 代表理事組合長

愛知東農業協同組合 代表理事組合長

あいち三河農業協同組合 常務理事

いしかわ なおと

石川 尚人

うみの ふみたか

海野 文貴

にいのみ ともあき

新家 智明

4 内容

- (1) 「ミネアサヒ」の各地域における取組状況に関する報告(各農業協同組合)
- (2) 「ミネアサヒ」の試食

5 参考資料

- (1) ミネアサヒの概要
- (2) 一般財団法人日本穀物検定協会が実施する食味試験について
- (3) 主要産地である3つのJAから各地域の市政記者クラブ等へ同時発信されるニュースリリース

「ミネアサヒ」の概要

1 「ミネアサヒ」とは

- ・ 愛知県農業総合試験場山間農業研究所が 1980 年に開発した品種です。
- ・ 中山間地域（標高 200m から 500m）の気候に適した品種であるため、県内の限られた地域の約 1,400ha で生産されており、県下の水稻作付面積の 5 パーセントとなっています。
- ・ 市場への流通量が少なく、そのおいしさと希少性が相まって、「幻の米」と呼ばれています。

2 「ミネアサヒ」の特徴

【外観】：つややかで美しい炊きあがり

【食味】：ほのかな甘みと独特の風味

【粘り】：粘りはありながらも、軟らかい食感

【総評】：やや小粒で、抜群のつやと爽やかなのどごし

ミネアサヒの主な生産地



豊田市、新城市、岡崎市



販売パッケージ

一般財団法人日本穀物検定協会が実施する食味試験について

1 食味試験

一般財団法人日本穀物検定協会は、良質米作りの推進と米の消費拡大に役立てるため、代表的な産地品種について、食味試験を行い、その結果について、毎年「食味ランキング」に取りまとめて公表している。

2 食味試験の対象産地品種

以下の条件を満たした品種であること。

- ・農産物規格規定に定める産地品種銘柄※であること。

※農産物検査時に品種名で区分される銘柄。農林水産省が都道府県ごとに指定

- ・主力品種に位置付けられており、県の主要 3 品種、又は作付面積が 1,000ha 以上若しくは収穫量 5,000t 以上であること。

3 食味試験の評価内容及び評価方法

評価内容	<u>「特A」、「A」、「A'」、「B」、「B'」の5段階で評価</u> ・基準米(複数産地「コシヒカリ」のブレンド米)に比べて食味が、特に良好なものを「特A」、良好なものを「A」、おおむね同等のものを「A'」、やや劣るものを「B」、劣るものを「B'」として評価。
評価方法	<u>炊飯した米の食味を実際に食べて評価</u> ・協会において、選抜訓練した専門の評価員である食味評価エキスパートパネルにより評価される。 ・白飯の「外観・香り・味・粘り・硬さ・総合評価」の6項目について、基準米と比較評価する相対法により行われる。

4 本県における対象産地品種の食味ランキング結果

産地品種銘柄	ミネアサヒ	あいちのかおり	本県産コシヒカリ
2020年産	特A	A	A'
2019年産	A'	A	A
2018年産	A	A	A'

愛知県初 三河中山間「ミネアサヒ」が米食味で JAあいち豊田が愛知県大村知事を表敬



日本穀物検定協会が発表した令和2年産米食味ランキングで、愛知・三河中山間「ミネアサヒ」が愛知県で初となる最高ランク特Aに選ばれました。これを受け3月23日、同米を出荷するJAあいち豊田が愛知県の大村秀章知事を表敬訪問します。

米「ミネアサヒ」は、愛知県稲武地区の山間技術試験場（現：農業総合試験場山間農業研究所）で、中山間地域に向く良食味米として育成され、1980年（昭和55年）に品種登録、翌56年に157ヘクタール（豊田市内の作付面積）で本格的な栽培が始まりました。現在は、中山間地域の主要品種となり、JAあいち豊田管内の令和2年の作付けは750ヘクタール、うち中山間地域は約615ヘクタールとなっています。JAあいち豊田が出荷する中山間地域で栽培される「ミネアサヒ」は、約225トンになります。（JA愛知東・JAあいち三河管内でも栽培しています）

また、豊田・みよし環境保全型農業推進協議会（JAあいち豊田、愛知県、豊田市、みよし市で構成）では、田んぼに舞う赤とんぼの姿を復活させ美しい景観を守ろうと、特別栽培米ミネアサヒの栽培拡大を進めています。これは、農薬の使用成分や化学肥料に含まれる窒素成分を愛知県の慣行基準より5割以下に削減した栽培方法で作る米で、「赤とんぼ米」の名称で販売しています。上記225トンのうち、45トンが赤とんぼ米の出荷量になります。

○豊田市のミネアサヒ栽培面積推移

	1981年 (S56)	1985年 (S60)	2008年 (H20)	2014年 (H26)	2021年 (R2)
平地	15 ha	49 ha	179 ha	180 ha	135 ha
中山間	142 ha	312 ha	714 ha	688 ha	615 ha
合計	157 ha	361 ha	893 ha	868 ha	750 ha

特別栽培米ミネアサヒ「赤とんぼ米」は平成27年から豊田市中山間地域で栽培を始めました。当初は、6人の生産者が合わせて1ヘクタールでスタートし、令和2年は28人、15.5ヘクタールまで拡大しました。

訪問日時

日時：令和3年3月23日(火) 11時45分～正午

場所：愛知県公館1階 名古屋市中区三の丸3丁目2-3

訪問者：JAあいち豊田 代表理事組合長 石川 尚人 ほか

※取材を希望される場合は、あらかじめご連絡をお願いします。

お問い合わせ先 JAあいち豊田 営農部 営農企画課

豊田市西町4丁目5番地

担当：原田

電話（0565）31-2460

FAX（0565）31-9825



<報道関係者 各位>

令和3年3月18日

米食味で「ミネアサヒ(三河中山間)」が愛知県初の「特A」 JA愛知東が愛知県大村知事を表敬訪問

日本穀物検定協会が発表する2020年産米の食味ランキングで、「ミネアサヒ(三河中山間)」が愛知県で初めてとなる「特A」に選ばれました。これを受け、3月23日(火)に、産地であるJA愛知東(海野文貴組合長)が愛知県の大村秀章知事を表敬訪問します。

良質米の生産拡大と消費拡大を目的に始まった同ランキングでは、1989年から最高位に特Aを設けており、今回は53の産地銘柄が特Aに格付けされました。「ミネアサヒ」は愛知県農業総合試験場が育成し、1980年に品種登録された中山間地向けの米で、栽培面積は県内約5%と少なく、流通量が限られることから「幻の米」とも呼ばれています。JA愛知東管内では、主産地の新城市作手地区で233ヘクタール、年1,176トンを生産するなど栽培が盛んで、今年2月からは、独自に作成したリーフレットを活用し、県内有数の米どころとして、食味などの魅力を消費者に向けてPRしています。

※ミネアサヒはJAあいち豊田、JAあいち三河管内でも栽培されています。

表敬訪問

日 時：令和3年3月23日(火) 11時45分～

場 所：愛知県公館1階(名古屋市中区三の丸3丁目2-3)

訪問者：JA愛知東 代表理事組合長 海野文貴 ほか



令和2年度ミネアサヒ栽培実績

産地	面積 (㎡)	生産量 (t)
新城地区	371,654	187
鳳来地区	627,036	316
作手地区	2,332,835	1,176
北設地区	350,000	176
合 計	3,681,525	1,855

▲ JA愛知東が独自に作成した
ミネアサヒの米袋とリーフレット

【お問い合わせ先】 JA愛知東 新城営農センター内(担当：原営農部長)

TEL : 0536-22-2300

FAX : 0536-22-0870

※取材の際は必ず、事前に上記までご連絡ください。

※この情報は、JAグループあいち記者会、新城市政記者クラブにおいてリリースしています。

ミネアサヒが食味で「特Ａ」 愛知県知事表敬し取得を報告 【3月23日（火）11:45～正午】



JAあいち三河 マスコットキャラクター めのりくん

日本穀物検定協会が発表した令和2年産米食味ランキングで、愛知・三河中山間「ミネアサヒ」が愛知県で初となる最高ランク“特Ａ”に選ばれました。これを受け3月23日、同米を栽培しているＪＡあいち三河が愛知県の大村秀章知事を表敬訪問します。

米「ミネアサヒ」は、愛知県農業総合試験場山間農業研究所で中山間地域に向く良食味米として育成され、1980年（昭和55年）に品種登録。岡崎市内では56年に120haで本格的な栽培が始まりました。令和2年の作付けは150ha、約1万俵が生産されています。（ＪＡ愛知東、ＪＡあいち豊田でも栽培しております）

当ＪＡ管内で栽培された「ミネアサヒ」は産直施設や当ＪＡオリジナルブランド「たべりん」として販売しています。更に整粒判別機による整粒歩合や標高条件、食味計による食味格付などの基準をクリアした「ミネアサヒ」のみを「プレミアム米ミネアサヒ」として数量限定で産直施設にて販売。高品位米として販売することで付加価値を付け、農家所得の向上と産地活性化に取り組んでいます。

取材対応について

日時： 3月23日（火）AM11:45～正午

場所： 愛知県公館1階

（名古屋市中区三の丸3丁目2-3）

訪問者： ＪＡあいち三河 経済担当常務 新家 智明
愛知県議会議員 中根 義高

※当日はＪＡ愛知東、ＪＡあいち豊田の役員なども出席予定です



「ミネアサヒ」は“まぼろしのこめ”

ミネアサヒは岡崎市の北部中山間地域と旧額田町で栽培され、県内の水稻面積の5%しか作付されていないため、「まぼろしのこめ」と言われています。

特徴として ①やや小粒で光沢がある

②米の味と粘り気が強い

③冷めても美味しい などがあげられます。



＜お問い合わせ先＞

ＪＡあいち三河 総合企画室 企画広報課（担当：榊原）

TEL：0564-55-3034 FAX：0564-55-2950 E-mail：kouhou@ja-aichimikawa.or.jp

※取材にお越しいただく際は、あらかじめご連絡をお願いいたします。

※この情報は、ＪＡグループ愛知記者会、岡崎市政記者クラブにおいてプレスリリースしています。